



## 2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月10日

上場会社名 フォスター電機株式会社 上場取引所 東  
コード番号 6794 URL <https://www.foster.co.jp/>  
代表者 （役職名）代表取締役社長CEO （氏名）岸 和宏  
問合せ先責任者 （役職名）IR・ガバナンス統括部長 （氏名）久米 清隆 TEL 042-546-2305  
半期報告書提出予定日 2025年11月10日 配当支払開始予定日 2025年12月5日  
決算補足説明資料作成の有無： 有  
決算説明会開催の有無： 有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	66,654	0.1	4,327	19.5	3,863	△6.0	2,620	10.9
2025年3月期中間期	66,612	11.6	3,622	67.2	4,108	92.0	2,363	112.2

（注）包括利益 2026年3月期中間期 2,274百万円（△20.7%） 2025年3月期中間期 2,869百万円（△54.9%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	117.34	—
2025年3月期中間期	106.11	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	106,618	69,983	58.3	2,764.46
2025年3月期	106,826	68,731	57.0	2,726.13

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 62,111百万円 2025年3月期 60,870百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	20.00	—	40.00	60.00
2026年3月期	—	35.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	40.00	75.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	135,000	△1.9	7,000	3.0	6,500	△15.9	4,200	7.6	188.06

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (中間期)

2026年3月期中間期	25,000,000株	2025年3月期	25,000,000株
2026年3月期中間期	2,532,158株	2025年3月期	2,671,437株
2026年3月期中間期	22,333,114株	2025年3月期中間期	22,277,231株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 中間連結貸借対照表 .....	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	5
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(表示方法の変更) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2025年4月1日～2025年9月30日)における世界経済は、中東情勢等の地政学リスクが継続する中、米国政権の政策変更およびそれによる実態経済への影響等、先行きは不透明な状況が継続しました。

当社グループが注力する自動車関連市場は、米国の関税政策見直しの影響により、直接的な関税負担や間接的な需要動向への影響等の不確実性が継続している状況ですが、当社では、顧客との丁寧な価格交渉やロジスティクスの機動的な見直し等、関税影響の極小化に努めました。また、4月より新たな中期事業計画をスタートさせ、「モビリティ関連ビジネス」と「コンシューマ関連ビジネス」の2つの成長戦略を掲げ、更なる成長の実現に向けた取り組みを行いました。主力となる「モビリティ関連ビジネス」においては、長年培ってきた車載向けスピーカの品質とグローバルな安定供給体制を強みとして、車載関連ビジネスの受注を増やすことに注力しました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は、66,654百万円(前年同期比0.1%増)、損益面では、営業利益が4,327百万円(前年同期比19.5%増)、経常利益が3,863百万円(前年同期比6.0%減)、親会社株主に帰属する中間純利益が2,620百万円(前年同期比10.9%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

#### (スピーカ事業)

ブランDED・プレミアムレベルにフォーカスした販売戦略の推進等により、売上高は54,789百万円(前年同期比1.0%増)となりました。損益面では、利益率の高いスピーカ販売の増加等により、営業利益は3,753百万円(前年同期比16.9%増)となりました。

#### (モバイルオーディオ事業)

民生用アクチュエータや主要顧客向けイヤホン・イヤホンドライバの販売が計画を上回る出荷となった一方、車載用ヘッドホンやその他顧客への販売が伸び悩んだこと等から、売上高は6,594百万円(前年同期比12.8%減)となりました。損益面では、売上高の減少等により、営業利益は375百万円(前年同期比38.2%減)となりました。

#### (その他事業)

小型音響部品事業、「フォステクス」ブランドの製品を含むその他事業は、接近通報音スピーカの販売が堅調だったこと等から、売上高は5,270百万円(前年同期比10.3%増)となりました。損益面では、以前より取り組んできた構造改革の効果により利益体質が強化され、営業利益は199百万円(前年同期は営業損失197百万円)と、黒字化しました。

(注) 上記セグメント別の売上高は、セグメント間取引消去後の数値で記載しています。

### (2) 財政状態に関する説明

総資産は、主に有価証券の減少により前連結会計年度末に比べ207百万円減少して106,618百万円となりました。負債は、主に買掛金の減少により前連結会計年度末に比べ1,458百万円減少して36,635百万円となりました。純資産は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末に比べ1,251百万円増加して69,983百万円となりました。また自己資本比率は、前連結会計年度末比1.3ポイント増の58.3%となりました。

#### (キャッシュ・フローについて)

当中間期末における現金及び現金同等物の残高は、以下に記載のキャッシュ・フローにより20,443百万円となり、前連結会計年度末に比べ327百万円減少しました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、減価償却費の増加等により2,025百万円となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、設備投資等により1,007百万円となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、長期借入金の返済や配当金の支払いにより1,193百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向に鑑み、2025年5月15日の決算短信で公表しました通期業績予想及び期末配当予想を修正しました。詳細につきましては、本日別途開示しています「通期連結業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,388	20,443
受取手形及び売掛金	29,972	30,359
電子記録債権	727	705
有価証券	1,115	104
製品	17,210	16,006
原材料	7,275	8,630
仕掛品	1,304	1,569
貯蔵品	322	316
未収入金	2,232	2,091
前渡金	833	671
その他	1,722	2,077
貸倒引当金	△59	△77
流動資産合計	83,045	82,899
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,327	6,901
機械装置及び運搬具(純額)	5,578	6,207
工具、器具及び備品(純額)	1,884	1,979
土地	3,384	3,493
建設仮勘定	1,219	1,416
有形固定資産合計	19,394	19,997
無形固定資産		
ソフトウェア	328	318
その他	140	138
無形固定資産合計	469	457
投資その他の資産		
投資有価証券	2,328	1,800
長期前払費用	68	67
退職給付に係る資産	1,102	1,007
繰延税金資産	228	213
その他	187	175
投資その他の資産合計	3,916	3,264
固定資産合計	23,780	23,719
資産合計	106,826	106,618

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,998	17,776
短期借入金	4,902	5,348
1年内返済予定の長期借入金	600	600
未払金	2,518	2,727
リース債務	485	413
未払法人税等	1,270	1,083
未払費用	3,144	2,490
賞与引当金	609	1,073
その他	1,357	1,439
流動負債合計	33,886	32,953
固定負債		
長期借入金	1,650	1,350
繰延税金負債	775	661
リース債務	933	940
退職給付に係る負債	122	132
役員退職慰労引当金	12	13
株式給付引当金	144	20
その他	568	564
固定負債合計	4,207	3,682
負債合計	38,094	36,635
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,770	6,770
資本剰余金	6,935	7,036
利益剰余金	39,483	41,207
自己株式	△3,937	△3,822
株主資本合計	49,251	51,191
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	925	805
為替換算調整勘定	10,949	10,353
退職給付に係る調整累計額	△255	△238
その他の包括利益累計額合計	11,619	10,920
非支配株主持分	7,861	7,871
純資産合計	68,731	69,983
負債純資産合計	106,826	106,618

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	66,612	66,654
売上原価	54,698	54,515
売上総利益	11,913	12,138
販売費及び一般管理費	8,291	7,810
営業利益	3,622	4,327
営業外収益		
受取利息	129	149
受取配当金	22	26
為替差益	667	—
雑収入	183	127
営業外収益合計	1,003	304
営業外費用		
支払利息	338	181
為替差損	—	499
持分法による投資損失	0	22
雑損失	177	65
営業外費用合計	516	769
経常利益	4,108	3,863
特別利益		
投資有価証券売却益	—	392
特別利益合計	—	392
税金等調整前中間純利益	4,108	4,256
法人税、住民税及び事業税	951	994
過年度法人税等	△167	—
法人税等調整額	43	△55
法人税等合計	828	939
中間純利益	3,280	3,317
非支配株主に帰属する中間純利益	916	696
親会社株主に帰属する中間純利益	2,363	2,620

(中間連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	3,280	3,317
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	67	△120
為替換算調整勘定	△474	△948
退職給付に係る調整額	△4	26
その他の包括利益合計	△410	△1,042
中間包括利益	2,869	2,274
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,424	1,921
非支配株主に係る中間包括利益	1,444	352



(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	4,108	4,256
減価償却費	1,592	1,600
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	83	88
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△2	6
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△15	0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	8	17
賞与引当金の増減額 (△は減少)	758	452
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△392
受取利息及び受取配当金	△152	△176
支払利息	338	181
為替差損益 (△は益)	362	△82
持分法による投資損益 (△は益)	0	22
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,689	△385
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,233	△218
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,378	△1,095
未収入金の増減額 (△は増加)	△407	123
未払金の増減額 (△は減少)	△537	207
前渡金の増減額 (△は増加)	△2,065	158
その他	37	△1,569
小計	3,567	3,197
利息及び配当金の受取額	152	176
利息の支払額	△338	△181
法人税等の支払額	△846	△1,166
法人税等の還付額	167	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,701	2,025
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△439	△102
有価証券の売却による収入	—	705
有価証券の償還による収入	667	—
投資有価証券の売却による収入	—	719
有形固定資産の取得による支出	△1,747	△2,184
無形固定資産の取得による支出	△104	△39
長期前払費用の取得による支出	△92	△79
定期預金の預入による支出	△1,659	—
定期預金の払戻による収入	1,611	—
その他	△11	△26
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,775	△1,007
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△220	540
長期借入金の返済による支出	△387	△300
配当金の支払額	△336	△896
非支配株主への配当金の支払額	△169	△283
自己株式の取得による支出	△0	—
その他	△255	△253
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,370	△1,193
現金及び現金同等物に係る換算差額	140	△151
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△303	△327
現金及び現金同等物の期首残高	17,034	20,771
現金及び現金同等物の中間期末残高	16,730	20,443

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(中間連結損益計算書)

前中間連結会計期間において、「営業外費用」の「雑損失」に含めていた「持分法による投資損失」は、金額的重要性が増したため、当中間連結会計期間より区分掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前中間連結会計期間の中間連結損益計算書の組替えを行っております。この結果、前連結中間会計期間の中間連結損益計算書において、「営業外費用」の「雑損失」に表示していた0百万円は、「営業外費用」の「持分法による投資損失」として組替えております。

(中間連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前中間連結会計期間において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていた「持分法による投資損益」は、金額的重要性が増したため、当中間連結会計期間より区分掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前中間連結会計期間の中間連結財務諸表の組替えを行っております。この結果、前中間連結会計期間の中間連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた0百万円は、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「持分法による投資損益」として組替えております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	スピーカ事業	モバイルオーディオ事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	54,273	7,560	4,779	66,612	—	66,612
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1,876	1,876	△1,876	—
計	54,273	7,560	6,656	68,489	△1,876	66,612
セグメント利益又は損失 (△)	3,211	607	△197	3,622	—	3,622

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引の消去です。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	スピーカ事業	モバイルオーディオ事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	54,789	6,594	5,270	66,654	—	66,654
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1,604	1,604	△1,604	—
計	54,789	6,594	6,874	68,258	△1,604	66,654
セグメント利益	3,753	375	199	4,327	—	4,327

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去です。

2 セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。